

竹繊維複合材料「BAMBOO+®」が LEXUSの「Forged bamboo」として採用 ～新型ISのオーナメントパネルに活用～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美）は、開発を進めてきた竹繊維複合材料「BAMBOO+®」が、LEXUSの「Forged bamboo」として採用されたことをお知らせします。これは、2026年1月8日に発売されたLEXUSの新型ISのオーナメントパネルに活用されています。なお、BAMBOO+®が自動車用部品に採用されるのは、今回が初めてです。

当社がこれまで開発を進めてきた BAMBOO+®は、竹繊維を高配合し、環境に配慮した材料です。一般的な射出成形機で成形が可能で、自動車部品の開発で培った技術とノウハウを活かし、自動車内装部品で求められる品質・耐久性を実現しました。今回採用されたLEXUS 新型 IS のオーナメントパネルでは、竹繊維が織りなす唯一無二の特徴的な陰影が、車両の力強い躍動感とスポーティなインテリアを際立たせています。



LEXUS IS オーナメントパネル



BAMBOO+®が織りなす模様

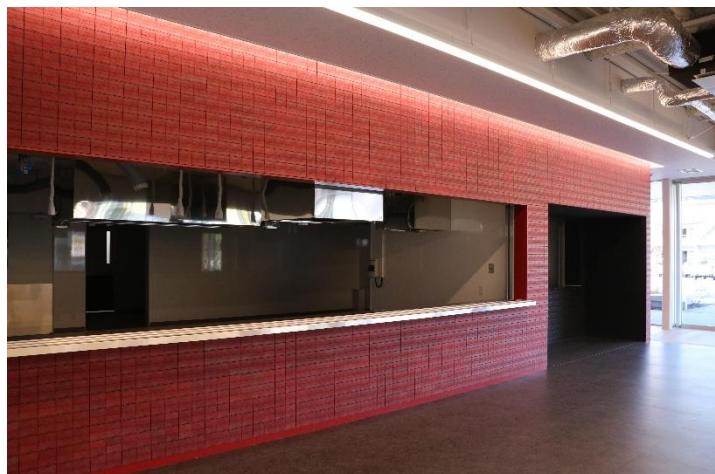
BAMBOO+®は、自動車に限らず、家具、建材など幅広い分野への応用も進めています。今後も当社は、持続可能な社会の実現に向けて、素材開発を通じた新たな価値創造に挑戦してまいります。

■BAMBOO+®について

「BAMBOO+®」は日本の竹の有効活用により、国内の放置竹林による社会の困り事解決や、雇用創出で地域へ貢献していく考え方のもと、竹纖維を 最大 55%配合した複合材料です。竹纖維が織りなす豊かな表情とさらりとした手触りが製品の意匠性を高めます。

自動車用の竹ステアリングホイール製造で協業している当社関連会社の株式会社ミロクテクノウッドと、高知県(高知県工業技術センター、高知県立紙産業技術センター)と共に、2021 年より共同開発を進めてきた素材です。

また、高知県内に新たに工場を取得し、2025 年 11 月より、BAMBOO+®の本格生産を開始しております。さらに、今後の製品展開に向けた新たな可能性を探るため、当社音羽工場に隣接する社員寮の食堂に、BAMBOO+®を用いた壁面およびチェアの試作品を設置し、検証を進めています。



BAMBOO+®を使用した壁面およびチェア

関連リリース：

高知県における新工場取得について ~竹纖維複合材料「BAMBOO+®」を 2025 年度より本格生産開始~

<https://www.tokai-rika.co.jp/release/file/20240528153937.pdf>

BAMBOO+®公式サイト：

bamboo-pluss.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東海理化 総務部広報室：0587-95-5211